

## 「我が事・丸ごと」の地域づくりへの支援【リーフレットの作成】

### 1 目的

地域住民一人ひとりが主体的かつ自分なりの形で地域づくりに関わるよう県民意識の醸成を図り、市町村が進める地域づくりを後押しすることを目的とする。

### 2 取組

地域福祉等に関する県の考え方を示したリーフレットを作成し、県民に広く周知する。

### 3 活用方法（案）

作成したリーフレットは、例えば次のように活用する。

- ・ 市町村や市町村社協に配布し、研修や講演会等で活用する。
- ・ 市町村等を通じ、自治会等で広く地域住民へ配布し周知を図る。
- ・ 県のイベント時に配布して周知を図る。 など

### 4 リーフレット作成にあたって考慮すべき点（ポイント）

- 県民に分かりやすい表現と構成
- 地域福祉とは何か
- 何故、住民の力が必要なのか
- 県で考える地域福祉コーディネーター（チーム）とは
- 誰かの助けになりたい気持ちやちょっとした行動が大切
- 地域の活動等への意識を向上させる（すでに活動をしているという意識も）
- 具体的な活動事例（はじめの歩的な取組）を掲載。  
→（興味を持った方は、事例集へ案内）
- タイトルは「あなたも『地域福祉コーディネーター』』とすると専門職を対象としているように感じる

### 5 整理すべき点

リーフレットに掲載するにあたり、県民に伝わりやすい、平易な言葉や文章とする。

#### （1）地域福祉とは

**【大目標】** ともに生き、支え合う社会の実現

**【小目標】** 誰もが地域において安心していきいきと生活できること

**【方 法】** 互いを認め合い、みんなで考え協力して取り組む

→（案） 誰もが地域において安心していきいきと生活できるよう、互いを認め合い、みんなで考え協力して取り組んでいくこと  
（それにより）⇒ “「ともに生き、支え合う社会」の実現”につながる

※ 別紙1 参照

## (2) 地域福祉コーディネーターとは

(案) 県は、特定の資格や職種に限定せず、次のような人を広く地域福祉コーディネーター(※)と考えています。

- ・ 地域において課題を抱える人や助けを必要とする人に対して、支え合いの気持ちをもって、地域住民、専門職や関係機関につなげるなどの行動を起こす人
- ・ 住民の支え合い等の活動や地域を元気にするような活動を広めるなど地域のつながりづくりに携わる人
- ・ 専門的な知識をもって、地域住民の相談に乗ったり、課題の解決に向けて関わる相談員等の専門職

※ 市町村によって、コミュニティソーシャルワーカーや〇〇サポーター等さまざまな名称があります。県ではそうしたさまざまな名称で活動する人たちを含めて地域福祉コーディネーターとして考えています。

※ 別紙2参照

## (3) 地域福祉コーディネーターチームとは

(案) 地域住民、地域の専門職や関係機関など、地域に関わるみんなが連携したチーム(“地域福祉コーディネーターチーム”)となることによって、地域の課題の解決や地域づくりが進んでいくと考えられる。

## (4) タイトル・副題

### ○ タイトル

(案1) 今、私たちが地域でできること

(案2) 私たち一人ひとりが地域づくりの主役です。

(案3) 自分たちで暮らしたい地域(まち)をつくろう!

(案4) 楽しみながらの地域福祉

(案5) 「地域福祉」って楽しい!

### ○ 副題

(案1) みんなでつながろう!! “地域福祉コーディネーターチーム”

(案2) 私のその気持ち、その一歩が地域をつくる

(案3) 地域に住まう人みんなの幸せづくり

(案4) 誰もが安心して暮らせる地域社会づくり

## (5) リーフレットの構成

※ 別紙3イメージ参照

## 6 今後のスケジュール

### ○ 平成30年度

- ・ リーフレット内容の調整

### ○ 平成31年度(前半)

- ・ リーフレット作成

### ○ 平成31年度(後半)

- ・ リーフレット配布